

価値あるお金の使い方

愛知県・名古屋市立守山西中学校 3年 山田 つかさ

「プライスレス」お金で買えない価値がある。最近よく耳にするコマーシャルのコピーです。大切な人達と過ごす時間、可愛がっているペットの寿命、志望校への合格、その他諸々、私のまわりにも、お金では手に入れることのできないものがたくさんあります。確かにどれもが直接お金で買うことはできないけれど、間接的にお金が関わってこそ、叶うことばかりです。例えば、大切な人達（家族）と旅行をして、一生の思い出を作るのにも、ペットが病気になって動物病院へ連れて行くのにも、志望校合格を目指して塾へ行くのにも、必ずお金が必要になります。時に、お金は人の心を狂わせて、犯罪者にしてしまったり、私利私欲だけを目的の生き方をさせてしまったり、罪作りなところもあるけれど、それは、間違ったお金の使い方や、間違ったお金への執着心が引き起こすもので、お金そのものには何の罪もないのです。

私が小さい頃、母が内職をしていた時期がありました。ブドウの房のようなかたちの小さなプラスチックの部品をニッパーというはさみでプチプチと切り離していく仕事でした。朝から晩まで、根気良くプチプチしている母に、いつだったか「それひとついくらなの？」と聞いたことがあります。「ひと袋で400円だから、1個は何十銭かなあ？」と母が答えました。「十銭って使えないお金じゃん！ よくやってられるねえ。」と言ったら、母は悲しそうな顔をして、「確かに、時給にしたら馬鹿馬鹿しいかもしれない。でも、この仕事を始めてから、缶ジュースを気軽に買えなくなって、お茶を持ち歩くようになったよ。小銭を大切に使うようになったし、お金を稼ぐ大変さやお金の大切さがわかったから感謝して仕事をしているんだよ。」と言いました。私は十銭を小馬鹿にしたようなことを言った自分が本当に恥ずかしかったです。身の置き場がなくなった私は、黙ったまま母がプチプチした部品をビニール袋に詰めるのを手伝いました。それ以来、自販機でジュースを買うことが少しだけ特別なことのように思えます。

今年の初め、我が家の庭に10年近く住みついている猫のチビが病気になりました。腎臓が悪いらしく、しかも末期なので2日に1度点滴をしないと死んでしまうと言われました。それはあくまでも対症療法で、延命にすぎないとのことでした。とても、頭の良い猫で、ご近所に迷惑がかからないように去勢手

術もしていましたが、庭の決まった場所で排泄するマナーの良い野良猫でした。何とか助けたいと思いましたが、2日に1度の点滴は、時間的にも、経済的にもきつく、家族全員が悩みに悩んだ結果、延命治療は止めて最後まで看病して送ってやろうと決めました。真冬の寒さは病気の身にこたえるだろうと、父は段ボールを二重にしたハウスを作り、母は夜中も早朝も湯たんぽを何度も取り替えていました。「お金が溢れるほどあれば、お母さんが仕事を辞めて、2日に1度の点滴にも連れて行ってやれるのに。チビは恨めしく思っていないのかなあ……。」と母は何度も涙を流していました。私は、絶対にチビは感謝していると思いました。誰かにお金を払って通院を頼み、病院へ連れて行ってほしい、わずかばかりの延命をするよりも、常に気にかけてほしい、温かい愛情を注いでもらえる方がどれだけ幸せか。私達の気持ちに応えるように、1月12日土曜日の午前10時12分、大好きだった縁台の上で、私と母に看取られて天国に旅立っていきました。

私は、小さな命の終わりに、たくさんのことを教えられました。世の中のたいていのことはお金で解決できると思います。でも、お金を正しく有効に使わなければ、虚しく意味のないこともあるということ。逆に、お金がなくても心豊かに、愛情に溢れた幸せな生活ができるということ。

私は、大人になったら高給取りになれなくてもいいから、お金を稼ぐことに感謝できるような生き方をしたいし、やりがいのある仕事に就きたいです。かつて、母がプチプチから教わったように、私も自分の手でお金を稼ぐ喜びを味わい、稼いだお金を有効に大切に使ってみたいと思います。

何年後かに初月給をいただいたら、まずはカンボジアに学校を建てることに寄付をして、両親と姉に高価ではない小さなプレゼントを買い、チビのお墓に供える季節の可愛らしい花を買いたいです。

そして、もちろん将来のために貯金をしたいです。その日のためにも、今は高校受験にむけて一生懸命勉強して、しっかりとした土台をつくりたいと思います。

夏季講習の費用は、母の給料半月分にもなります。暑い中、毎日仕事に出かける両親の姿を見ると、そのお金を決して無駄にしないようにしようと身が引き締まります。